

今後の気象見通し

(株式会社応用気象エンジニアリング)

この春(2012年3月~6月)の天気の傾向

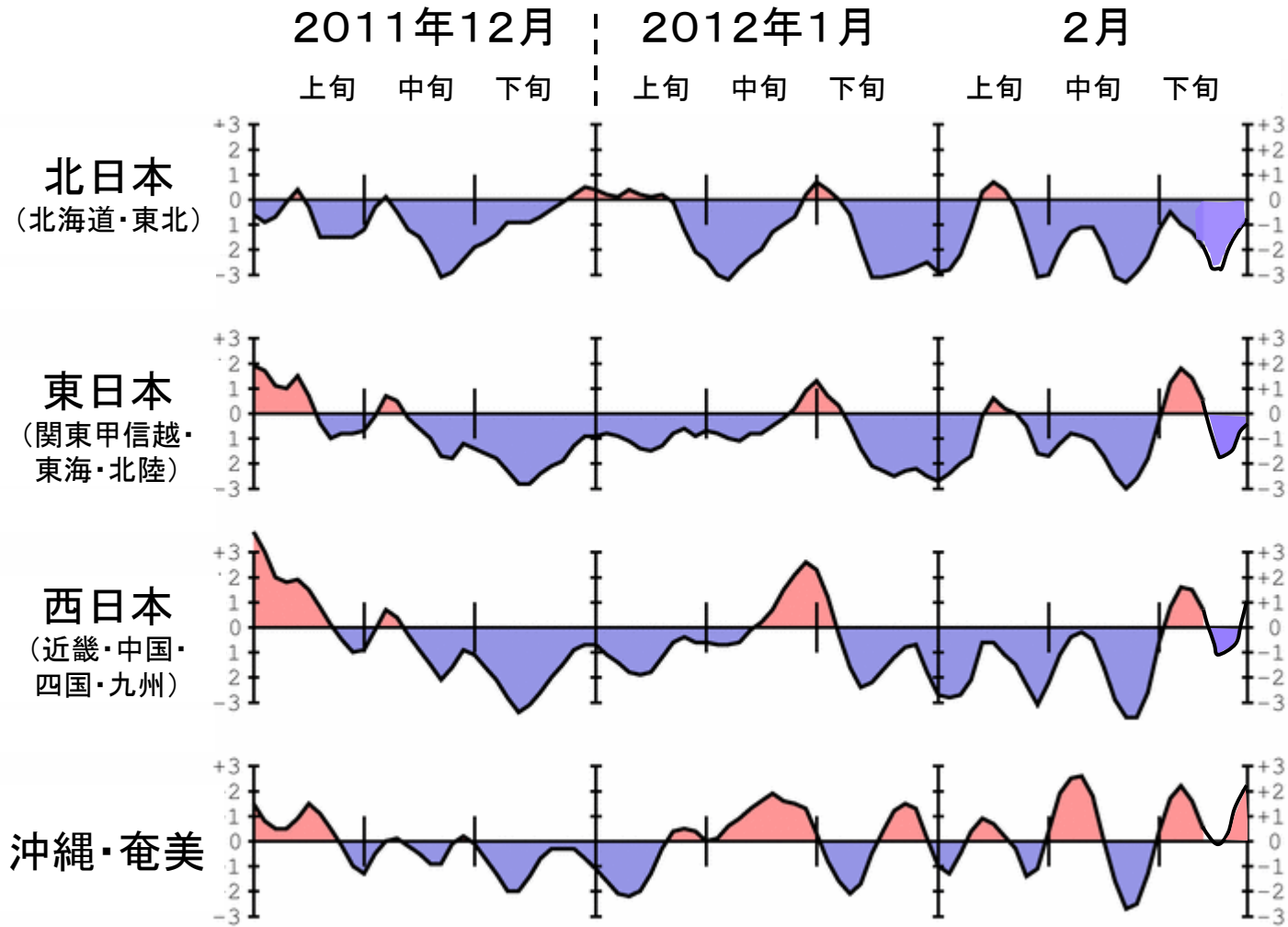
2012年 3月 16 日

株式会社 応用気象エンジニアリング

気象予報士 渡邊 道夫

各地域の、この冬(12月~2月)の気温経過(平年との差)

※ 気象庁発表資料

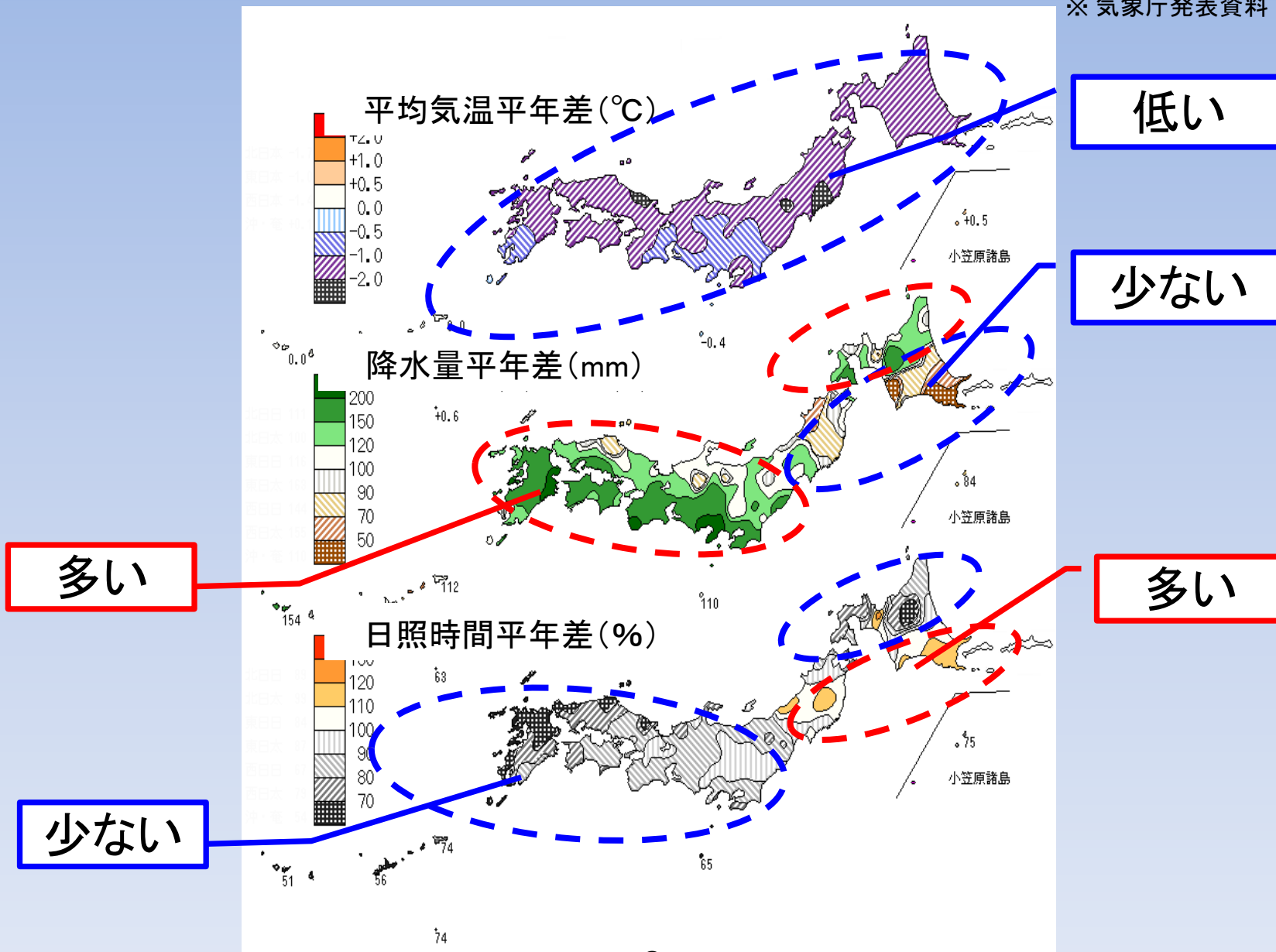


TIME SERIES OF 5-DAY RUNNING MEAN TEMPERATURE ANOMALY FOR SUBDIVISIONS

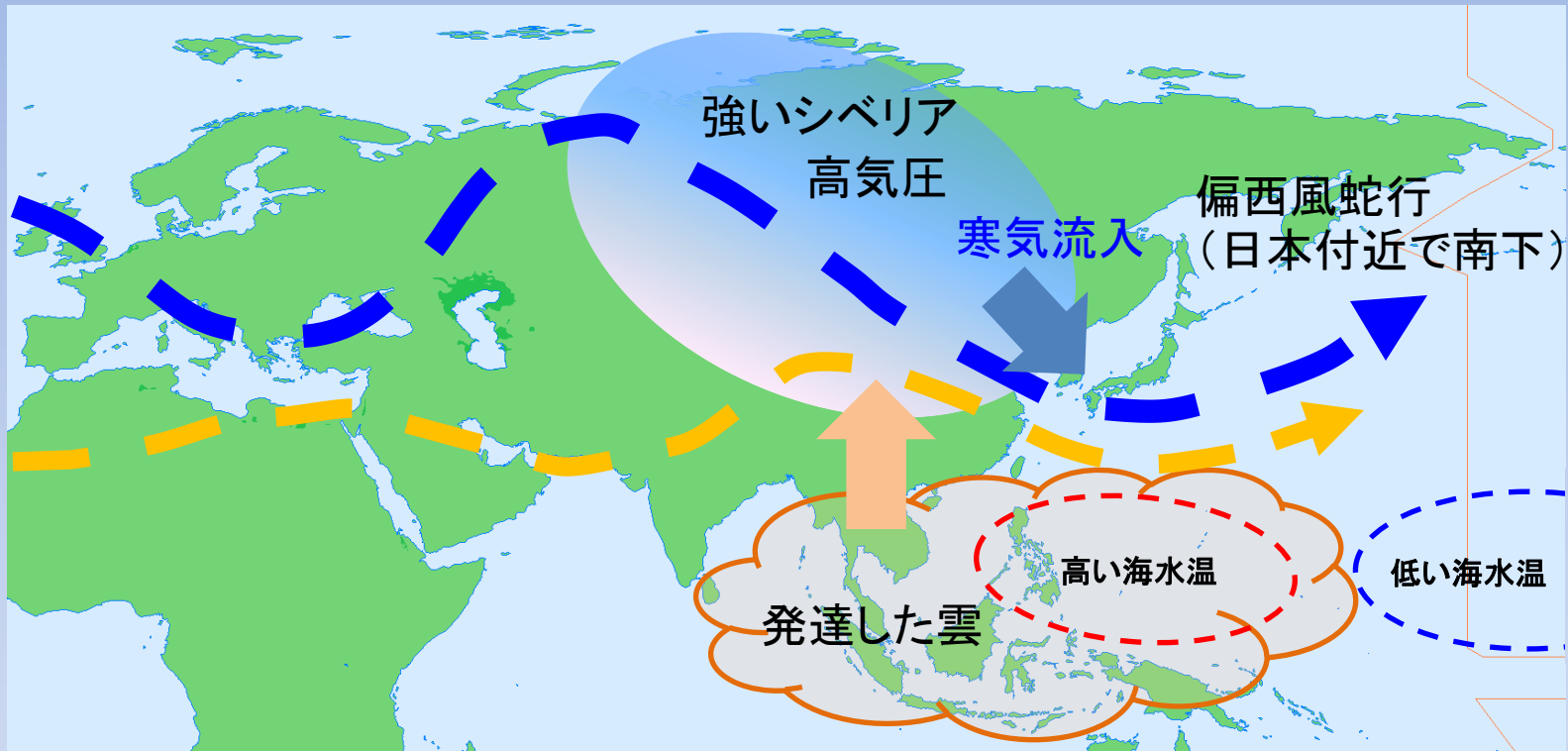
地域平均気温平年差の5日移動平均時系列

各地域の、2月の気温・降水量・日照時間(平年との差)

※ 気象庁発表資料



この冬(12月~2月)の平均的な大気の流れの特徴(模式図)



上空を流れる偏西風(寒帯前線ジェット気流、亜熱帯ジェット気流)の特徴

- ・ **亜熱帯ジェット気流**は、日本のはるか南海上の海水温が高く、対流活動が活発となって、日本付近で南に蛇行しやすくなりました。
(ラニーニャ現象による影響と考えられます。)
- ・ **寒帯前線ジェット気流**は西シベリア付近で北に蛇行し、シベリア高気圧の勢力が非常に強くなり、日本付近に強い寒気が南下しやすくなりました。

春(3月～6月)の天気の動向

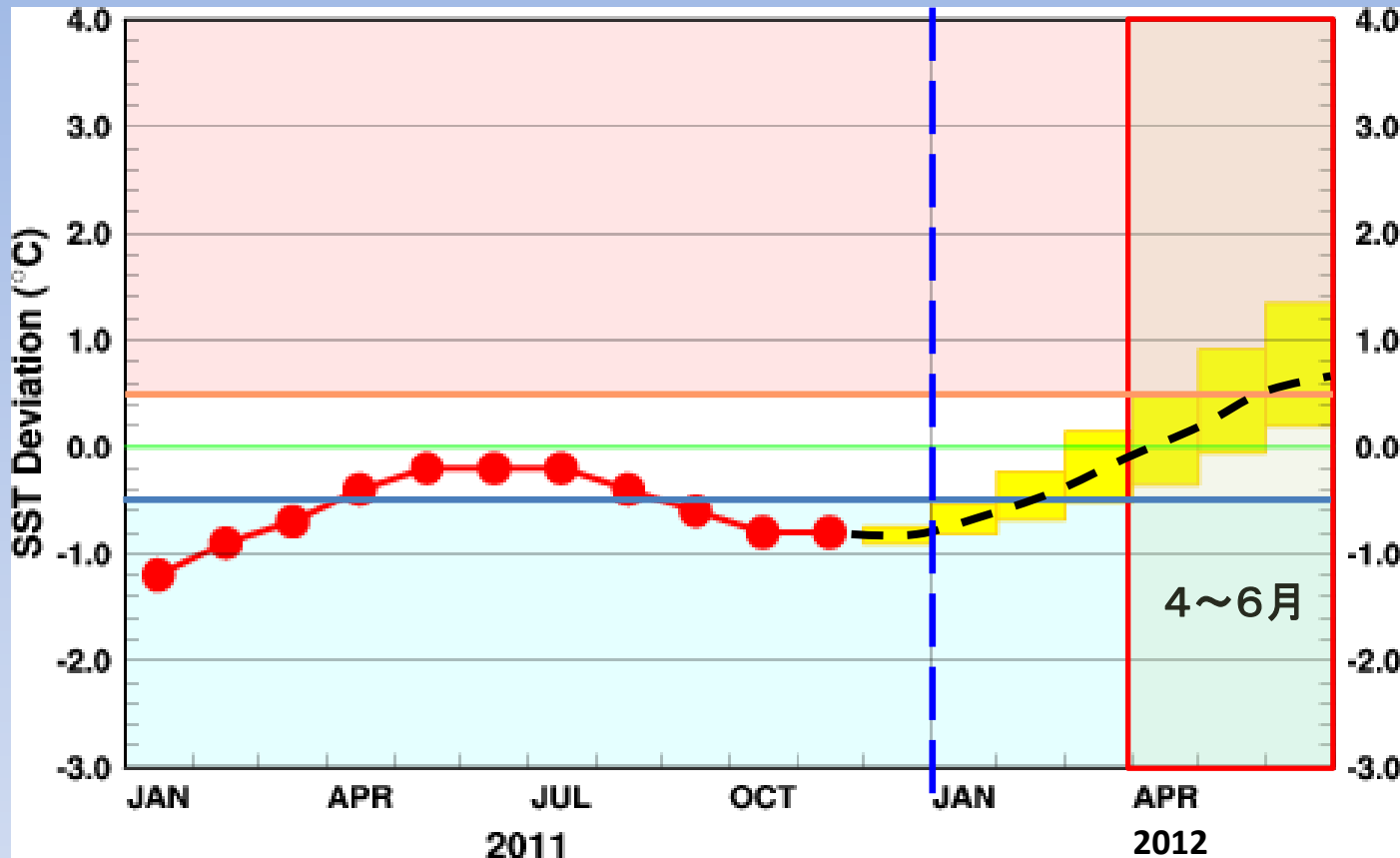
春(3月～6月)の天気の動向

○全般の傾向(2月23日:気象庁発表3か月予報及び暖候期予報より)

- ・ ラニーニャ現象は、この春の間に終息する見込み。
- ・ 偏西風は北上傾向で、日本付近は高気圧に覆われやすくなる。
- ・ 3月～5月は、天気は数日の周期で変わり、気温は平年並みか高め。
- ・ 6月は、前線の影響を受け、全国的に曇りや雨の日が多くなる。気温は平年並み。

エルニーニョ監視海域の海面水温の予測

※ 気象庁発表資料



ラニーニャ現象は春までの間に終息する可能性が高い。
夏にはエルニーニョ現象が発生する可能性もあるが、
予報モデルの特性を考慮すると、平常の状態で推移する
可能性がより高い。

4月の天気の動向(気象庁発表3カ月予報)

- 沖縄や奄美を除き、天気は数日の周期で変わる。
- 北日本、東日本の太平洋側と西日本では、平年と同様に **晴れの日が多い**。
- 沖縄と奄美では、南から湿った空気が流れ込みにくいいため、平年に比べ曇りや雨の日が少なく、**西日本も少雨傾向**。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並みか少ない	並みか多い
	太平洋側			
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並み	並みか少ない	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並みか低い	並みか少ない	並みか少ない

5月の天気の動向(気象庁発表3カ月予報)

- 沖縄や奄美を除き、天気は数日の周期で変わる見込み。
- 東・西日本は、平年と同様に**晴れの日が多い**。
- 沖縄や奄美では、平年と同様に湿った気流の影響を受けやすく、**曇りや雨の日が多い**。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並みか高い	並みか少ない	並み
	太平洋側		並み	
東日本	日本海側	並みか高い	並みか少ない	並み
	太平洋側		並み	
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並み	並み	並み

6月の天気の動向(気象庁発表暖候期予報)

- 平年と同様に、曇りや雨の日が多い。(梅雨前線)
- 気温、降水量及び日照時間については、各地ともに平年並みの予想。

		気温	降水量	日照時間
北日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
東日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
西日本	日本海側	並み	並み	並み
	太平洋側			
沖縄・奄美		並み	並み	並み

各地域の梅雨入り、梅雨明け平年日

地 方	梅雨入り平年日	昨 年	梅雨明け平年日	昨 年
沖 縄	5月 9日頃	4月30日頃	6月23日頃	6月 9日頃
奄 美	5月11日頃	4月30日頃	6月29日頃	6月22日頃
九州南部	5月31日頃	5月23日頃	7月14日頃	6月28日頃
九州北部	6月 5日頃	5月21日頃	7月19日頃	7月 8日頃
四 国	6月 5日頃	5月21日頃	7月18日頃	7月 8日頃
中 国	6月 7日頃	5月21日頃	7月21日頃	7月 8日頃
近 畿	6月 7日頃	5月22日頃	7月21日頃	7月 8日頃
東 海	6月 8日頃	5月22日頃	7月21日頃	7月 8日頃
関東甲信	6月 8日頃	5月27日頃	7月21日頃	7月 9日頃
北 陸	6月12日頃	6月18日頃	7月24日頃	7月 9日頃
東北南部	6月12日頃	6月21日頃	7月25日頃	7月 9日頃
東北北部	6月14日頃	6月21日頃	7月28日頃	7月 9日頃

この春の予報(まとめ)

- **ラニーニャ現象**は終息に向かう。
- 日本付近は、高気圧と低気圧が交互に通過する周期変化。
- 沖縄と奄美を除き、天気は数日の周期で変わりやすい。
- 梅雨入りは平年並み？(5月下旬から6月上旬頃)



春の天気による注意点(一般的な例)

- 3月～4月は寒暖の差が大きくなる。
 - 特に積雪の多い地域では、融雪による**増水**
 - 寒気の南下による**遅霜**
- 急速に発達した低気圧や梅雨前線の影響
 - **突風**を伴った**雷**や短時間の**激しい降水**
 - **強風**や**降ひょう**
 - 連続した降水による**増水**

夏(7月～8月)の天気の動向

○全般の傾向(2月23日:気象庁発表暖候期予報より)

- ・太平洋高気圧及びオホーツク海高気圧の勢力は、平年並みと予想。
- ・エルニーニョ現象が、発生する可能性もある。



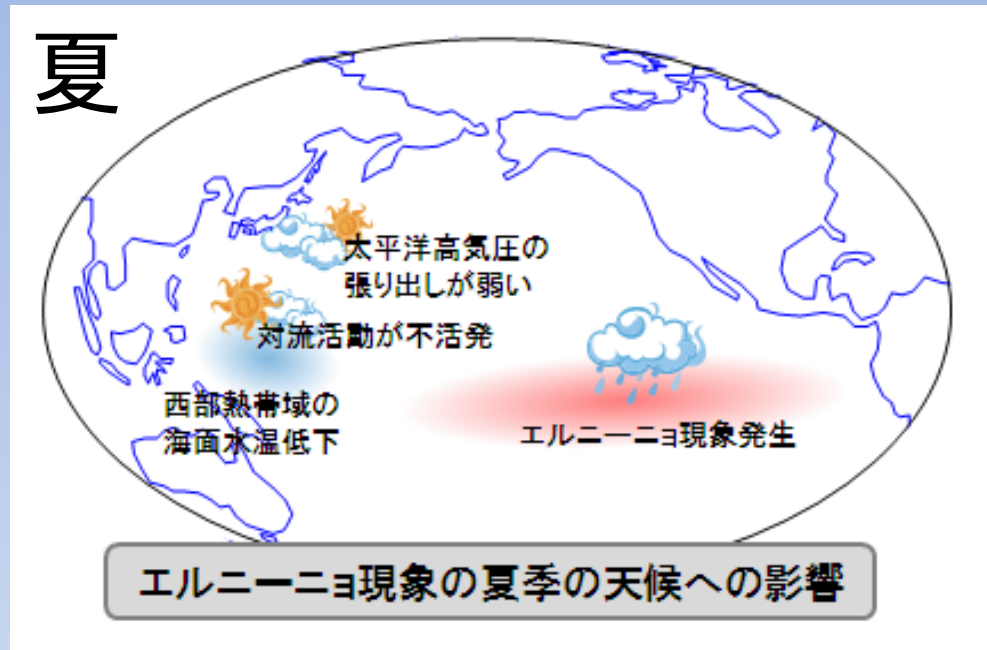
7月・・沖縄や奄美を除き、前線の影響を受けやすく、曇りや雨の日が多くなる。

8月・・全国的に太平洋高気圧に覆われて、平年と同様に晴れの日が多いが、オホーツク海高気圧が張り出して、北・東日本の太平洋側を中心に、低温となる時期がある。

降水量は、全国的に平年並みと見込まれる。

エルニーニョ現象と日本の夏の天候

※ 気象庁発表資料



エルニーニョ現象が発生すると、西太平洋熱帯域の海面水温が低下し、西太平洋熱帯域で積乱雲の活動が不活発となる。

このため日本付近では、夏季は太平洋高気圧の張り出しが弱くなり、低温、多雨、寡照となる傾向にある。

今年の台風の動向(3月6日現在)

台 風	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
平年発生数	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6 個
今 年	—	—	—										0 個

3月までの平均発生数 ・・ 0.7個

現在までの今年の発生数 ・・ 0 個

終わり

※本資料は、気象庁発表の3か月予報及び暖候期予報資料を基に作成しました。